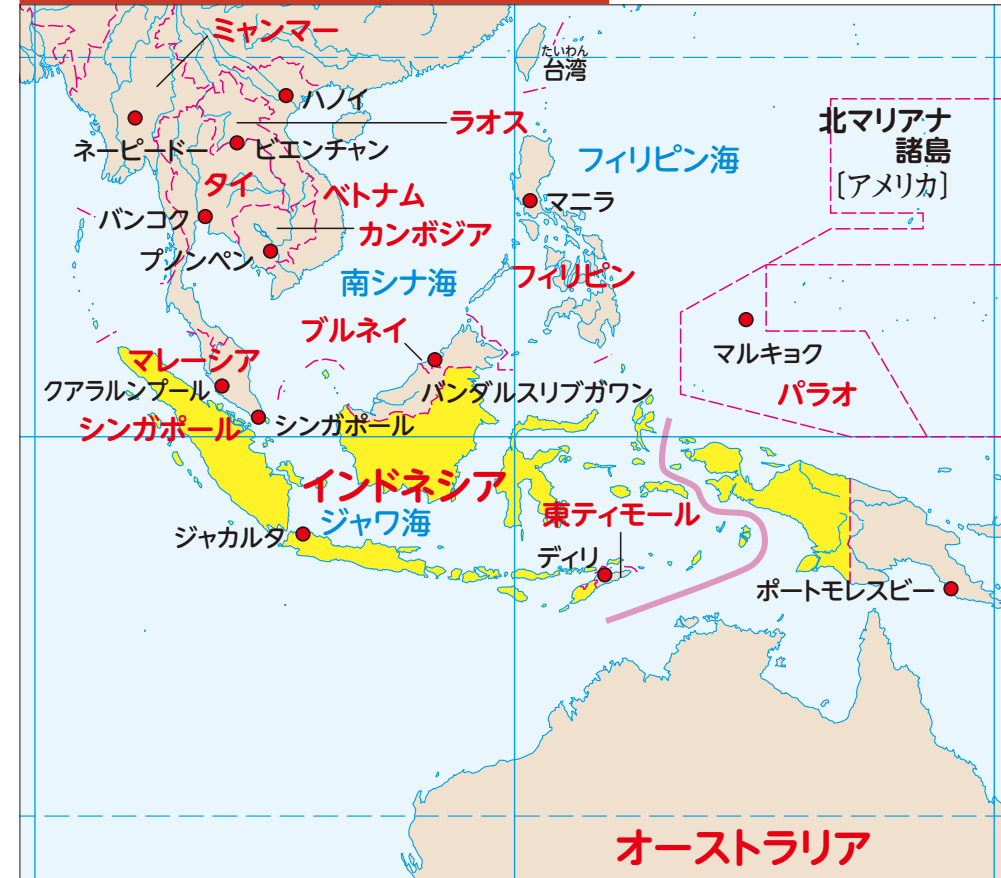


# インドネシアのおもな都市



# インドネシアと周辺の国ぐに



# インドネシア

**正式名称**  
インドネシア共和国

**面積**  
191万1000km<sup>2</sup>  
(日本は37万7975km<sup>2</sup>)

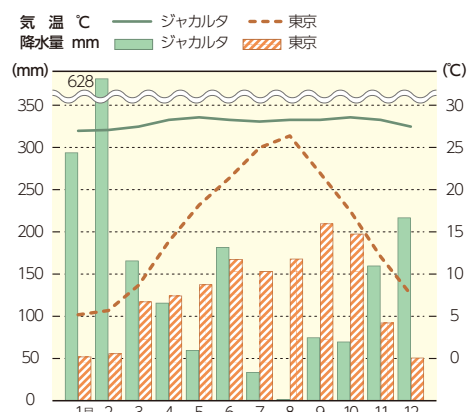
**人口**  
2億7063万人  
(日本は1億2602万人)

**国旗**  
上下に赤と白を用いたデザイン。赤が「自由」と「勇気」、白が「正義」と「純潔」を示しているといわれる。

**日本との距離**  
東京からジャカルタまで直線距離で約**5800km**

**時差**  
国内に3つの時間帯がある。首都ジャカルタは東京より2時間おそい。日本が昼の12時のときジャカルタは午前10時。

**気候**  
高温多湿の熱帯気候。ジャワ島などでは、モンスーン(季節風)による乾季(5~10月)と雨季(11~4月)がある。



▲ジャカルタと東京の月別平均気温と降水量  
(※ジャカルタの降水量は、2017年の観測値)  
(『理科年表2020』丸善出版)

## インドネシアのおもな世界遺産

インドネシアでは、2019年現在、次の9件が世界遺産として登録されている。

- ボロブドゥル寺院遺跡群
- ウジュン・クロン国立公園
- コモド国立公園
- プランバナナ寺院遺跡群
- サンギラン初期人類遺跡
- ロレンツ国立公園
- スマトラの熱帯雨林遺産
- バリ州の文化的景観
- サワルトンのオンビリン炭鉱遺産



▲ボロブドゥル寺院遺跡群。ボロブドゥルはジャワ島中部に残る仏教の石造建造物の遺跡で、世界3大仏教遺跡のひとつとされる。自然の丘に土を盛り、約5万以上の安山岩ブロックを、接着剤を使わずに積みあげて建造されている。



▲ボロブドゥル寺院遺跡群の頂上にある大ストウパ(仏塔)。頂上から下を見おろすと、周囲には豊かな森林が広がっている。また、頂上にいたるまでの各回廊の壁には、ブツダの生きざまや教を伝える精密な彫刻が数多く見られる。



▲プランバナナ寺院遺跡群はインドネシア最大級のヒンドゥー教遺跡。9世紀ごろに古マタラム王国によって建立された。



▲バリ島の棚田とヤシの木の景観。バリ島では、伝統的に「スバック」という組織をつくり、各水田に配分される水の量を管理している。



現地取材! 世界の暮らし ⑦ ✈

# インドネシア

文・写真：常見藤代 監修：倉沢愛子

ロンボク島の山間部でココナツの実を手に歩く女性。じよせい



現地取材! 世界の暮らし ⑦

# インドネシア

もくじ



動画が見られる!



- スラマツ パギ  
おはようございます
- スラマツ シアン  
(正午~午後4:00) こんにちは
- スラマツ ソレ  
(午後4:00~6:00) こんにちは
- スラマツ マラム  
こんばんは

	<b>自然と気候</b> 熱帯にある世界最大の島国	4
	<b>国のあらまし</b> 信じる宗教をもつ人びと	6
	<b>住居と習慣</b> 都市郊外にクラス家族 イスラム教徒の暮らし 田園地帯にクラス家族	8 10 12
	<b>食と習慣</b> 米が主食 安くておいしい庶民の味	14 16
	<b>まちと暮らし</b> 都市の交通事情 庶民の買い物の場所	18 20



自転車に乗って買い物に行く姉妹。

赤はインドネシア人女性に人気のある色。

	<b>学校生活</b> 公立小学校をたずねて 授業と学校の1年間 休み時間と礼拝の時間	22 24 26
	<b>子どもの遊び</b> 人気の遊びと音楽・踊り	28
	<b>スポーツ・娯楽</b> 休日のレジャーと人気スポーツ	30
	<b>行事と冠婚葬祭</b> しずかなバリ島の新年 結婚式は村全体のイベント	32 34
	<b>くらしの多様性</b> バリ島のくらし 田をたがやすくらし 伝統的な産業をたずねて	36 38 40
	<b>SDGsとくらし</b> 地震や噴火の多い国	42
	<b>日本との関係</b> 日本と長い歴史のある友好国	44
	<b>[巻末資料]</b>	46



◀こちらのサイトにアクセスすると、本書に掲載していない写真や、関連動画を見ることができます。



バリ島の清めの儀式で、寺院のご神体を海で清める。



お供え物をもって寺院に参拝にむかうバリ島の女性たち。



寺院のお祭り前のなごやかなひととき。



ロンボク島のお祭りで神さまへのお供え物の動物を囲む男性たち。



お祭りのために正装した女性たち。



市場でパンケーキを焼いて売る。



# 熱帯にある世界最大の島国



ジャワ島の農村風景。雨がたくさん降る高温の気候のため、1年に2回以上米が収穫できる。

## 1万8000の島じまからなる国

インドネシアは赤道をはさんで約1万8000の島じまからなる世界最大の島国です。日本からは飛行機で7時間くらいかかります。

国の東西のはばは5000km以上でアメリカ大陸よりも広く、すべての国土面積を合わせると、日本の約5倍になります。

国土の大部分が赤道周辺にあるため、気温は1年を通じて30℃前後です。雨がよく降る熱帯

雨林気候で、季節は乾季と雨季に分かれます。乾季は5～10月、雨季は11～4月です。米は1年に2回以上収穫でき、野菜や果物、香辛料の栽培や漁業もさかんです。

インドネシアは火山が多く、噴火や地震がしばしば起きています。2004年のスマトラ島沖地震津波では、28万人以上もの死者・行方不明者が出ました。また、2018年8月にはバリ島のとなりのロンボク島でマグニチュード7の地震が発生し、500人以上が死亡しています。



▲多くの島じまからなるインドネシアは、海上交通が発達している。



▲バリ島の魚市場で、とれたばかりの魚を売る女性。市場は早朝がいちばん活気がある。



▲雨が多く、年じゅう温暖な気候のため、果物がよく育つ。市場では1年を通じて色とりどりの果物がならぶ。



▲ロンボク島でココナツの実を運ぶ男性。ココナツは結婚式の料理の材料に使われる。

インドネシアでは、通勤や通学の交通手段として、船がひんぱんに使われている。





# さくいん

**あ**

- 悪霊 33
- アグン山 42
- アッラー 10
- アラビア語 10
- イスティクラル・モスク 6
- イスラム教 6、10、11、17
- イスラム教徒 6、24、36
- イスラム暦 24
- 井戸 12、13、14
- 稲作 38
- インディカ米 15
- インド 6、36、38、40、41
- インドネシア語 6、22
- ウェット・テル 7
- 雨季 4、20
- エスニック・グループ 6
- オゴオゴ 33
- お供え物 7、33、37

**か**

- 火山 4、38、42
- 火山灰 42
- 活火山 42
- 活断層 42
- ガドガド 16
- カトリック 6、22
- 神さま 27、33、36、37
- ガムラン 29
- 空手 31
- 乾季 4
- キリスト教 6
- 空芯菜 15
- クモノスカビ 15
- クランプック 21
- ケチャダンス 37
- 結婚証明書 35
- コーヒー 17
- コーラン 10
- ココナツ 5、39
- ココナツミルク 17
- ゴジェック 19

**さ**

- サウジアラビア 10
- サカ暦 33
- サテ 17
- サンバル 15

- 寺院 7、33、36、37
- 地震 4
- JICA (国際協力機構) 44
- ジャカルタ 18、19、30、44
- ジャカルタ鉄道 44
- ジャカルタMR T (都市高速鉄道) 44
- ジャワ語 22
- ジャワ島 8、29、38、40、42
- 儒教 6
- ジョグジャカルタ 8、12、22
- スカーフ 11
- スバック 38
- スマトラ島 17
- スマトラ島沖地震 4
- スメル山 38
- 聖水 37
- 聖典 10
- 赤道 4
- 僧侶 37

**た**

- 太陰暦 24
- 田植え 38、39
- 棚田 38
- タフ 14、16、21
- チャップ 40、41
- チャナン 36、37
- チャンティン 40
- チョベ 15
- 津波 42
- 津波発生予測データベース 42
- TK 23
- デンパサール 33
- テンペ 14、15、16
- トウガラシ 12、15
- ドラえもん 45
- ドラゴンボール 45
- トランスジャカルタ 18、19

**な**

- ナシクニン 35
- ニューピ 33
- 熱帯雨林気候 4

**は**

- パウド 23
- パサール 20
- バジャイ 19

- パダン空港 44
- パダン料理 17
- パティック 40
- バドミントン 31
- バナナ 16、17
- パパイヤ 12
- バヤン地区 7
- バリ島 4、17、29、33、36、38、39、42
- バリ・ヒンドゥー教 7、36、37
- バリ舞踊 29
- ピーナツ 17
- ピーナツソース 17
- ヒンドゥー教 6、7、17、33、36
- ヒンドゥー教徒 22
- ブサキ寺院 37
- ブタ 14、17
- ぶた肉 14
- 仏教 6
- プロテスタント 6、22
- 噴火 4、42
- ベチャ 19

**ま**

- マグニチュード 4
- マハーバーラタ 41
- 無形文化遺産 40、41
- ムラスティ 32、33
- ムラピ火山博物館 43
- ムラピ山 12、38、42、43
- メッカ 10
- モスク 10、11、27

**や**

- ヤシ砂糖 17

**ら**

- ラーマーヤナ 41
- ラマダン 24
- ルピア 13
- 礼拝 10、27
- ロウ 40、41
- ロンボク島 4、5、7

**わ**

- ワヤン 41
- ワヤン・クリ 41
- ワルン 21
- ONE PIECE 45

## 取材を終えて

常見藤代

「こちらの人は死にぎわに生きることに執着しない」と、インドネシア人男性と結婚して旅行会社を営む中辻朝さんからお聞きしました。ある程度の年齢まで楽しく生きられたら、それでいい。高い医療費を払って延命治療しながら少しでも長生きするより、家で家族に囲まれながら楽しく人生を終えたいと思っているそうです。

インドネシアでは医療保険制度が日本ほど整っていないため、庶民は気軽に医療にかかれません。いっぽうで大家族制が生きているため、結婚後は長男も次男も両親と同居する人がたくさんいます。年老いた両親は、家族が死ぬまで面倒をみるのです。

日本にはすぐれた医療保険制度があり、ほとんどの人が必要な医療を受けられます。それはとても喜ばしいことである半面、人生の最期を病院でむかえる人も少なくありません。

私のはじめての海外一人旅はインドネシアでした。バスでとなりあった人に話しかけられて、かたことのインドネシア語で返すと、「家に来なさい」と言われることがたびたびあり、何軒もの家を泊まり歩きました。

あれから20年以上がたち、この国はどう変わったのかに興味がありました。だれもがスマホを持つようになり、



▲ロンボク島のプールで体操着とスカーフすがたで泳ぐ女子学生たち

アプリを起動してさっとタクシーをよびだすのには驚きました。しかし人のあたたかさはあいかかわらず、私がホテルへの帰りがたがわからなくて困っていると、自分の予定を変更してホテルのすぐ近くまでついてきてくれる人もいました。

他人への思いやり、人と人とのつながりという人間のもっとも尊いものにふれることができるのが、インドネシア滞在の楽しみです。もしみなさんがインドネシアに行く機会があれば、そういうこともぜひ感じとっていただけたらいいなと願っています。

## 現地取材！世界のくらし7

# インドネシア

発行 2020年4月 第1刷

文・写真 : 常見藤代 (つねみ ふじよ)  
 監修 : 倉沢愛子 (くらさわ あいこ)  
 発行者 : 千葉均  
 編集 : 原田哲郎  
 発行所 : 株式会社ポプラ社  
 〒102-8519 東京都千代田区麹町4-2-6  
 電話: (編集) 03-5877-8113  
 (営業) 03-5877-8109  
 ホームページ: www.poplar.co.jp  
 印刷・製本 : 凸版印刷株式会社

©Fujiyo Tsunemi 2020 Printed in Japan  
 ISBN978-4-591-16527-0  
 N.D.C.292/48P/29cm

落丁・乱丁本はお取り替えいたします。小社宛にご連絡ください。  
 電話 0120-666-553 受付時間は、月～金曜日9時～17時です(祝日・休日は除く)。  
 読者の皆様からのお便りをお待ちしております。いただいたお便りは制作者にお渡しいたします。  
 本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。  
 本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内での利用であっても著作権法上認められておりません。  
 P7211007

- 監修 倉沢愛子 (慶應義塾大学経済学部名誉教授)
- 取材協力 Sekolah Dasar Negeri Pakem4 / Sekolah Dasar Negeri Tlacap ジョグジャカルタ日本人会 / 三谷雄一 / Yanti Bustandar 中辻朝 (Javanava Travelcafe) / 有賀正博 / Kadek Sujana Batik Seno / Batik Winotosastro
- 参考文献 加納啓良『インドネシアの基礎知識』(めこん) 土屋健治、深見純生、加藤剛・編『インドネシアの事典』(同朋舎出版) 村井吉敬、佐伯奈津子・編著『インドネシアを知るための50章』(明石書店) 宮崎恒二、山下晋司、伊藤眞・編『インドネシア(暮らしがわかるアジア読本)』(河出書房新社) 倉沢愛子・編著『消費するインドネシア』(慶應義塾大学出版会) 吉田竹也『バリ宗教ハンドブック』 田村史子、吉田禎吾・著、菅洋志・写真『祭りと芸能の島バリ』(音楽之友社) 『データブック オブ・ザ・ワールド 2020』(二宮書店)
- 地図: 株式会社平凡社地図出版
- 校正: 株式会社鶴来堂
- デザイン: 株式会社クラップス (佐藤かおり、神田真里菜)